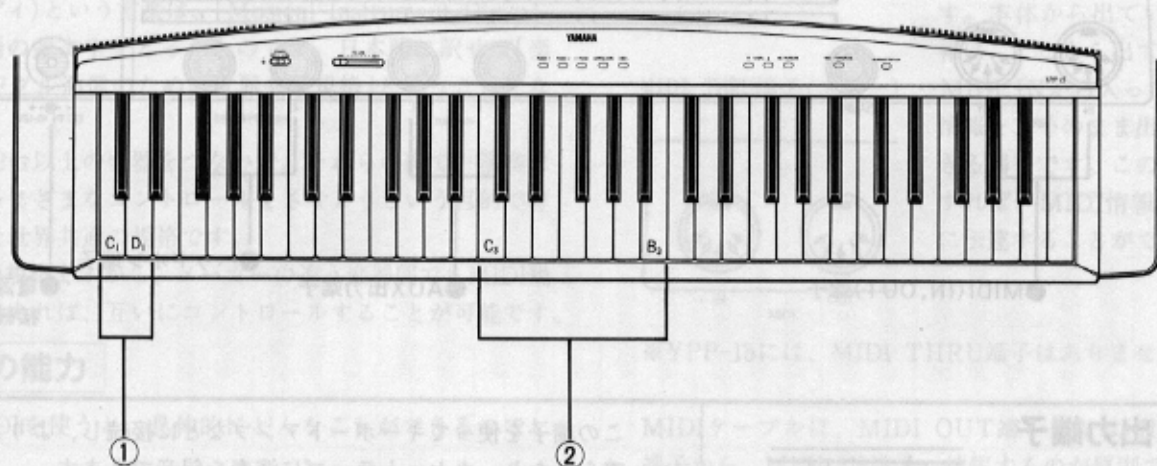


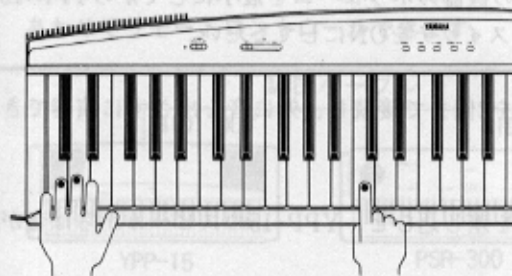
# 5. その他の機能

## 1. 他の楽器と音程を合わせる(マスターチューニング)

アンサンブルの時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせることができます。

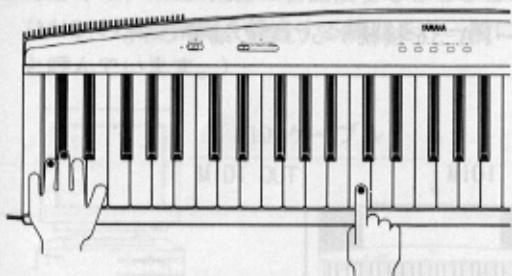


### 音程を上げる時



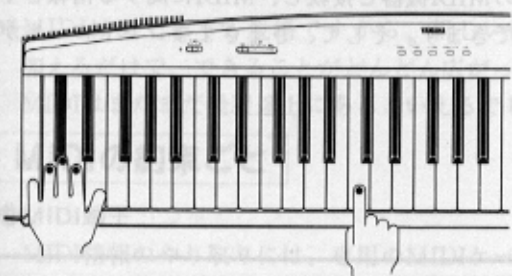
- ① ド(C<sub>1</sub>)とレ(D<sub>1</sub>)の鍵盤を同時に押しながら
- ② ド(C<sub>3</sub>)～シ(B<sub>3</sub>)のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。  
音を聴きながらこきざみに音程を上げて、ピッチを合わせてください。

### 音程を下げる時



- ① ド(C<sub>1</sub>)とド<sup>#</sup>(C<sub>1</sub><sup>#</sup>)の鍵盤を同時に押しながら
- ② ド(C<sub>3</sub>)～シ(B<sub>3</sub>)のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。  
音を聴きながらこきざみに音程を下げて、ピッチを合わせてください。

### 音程を初期状態の高さに戻す時

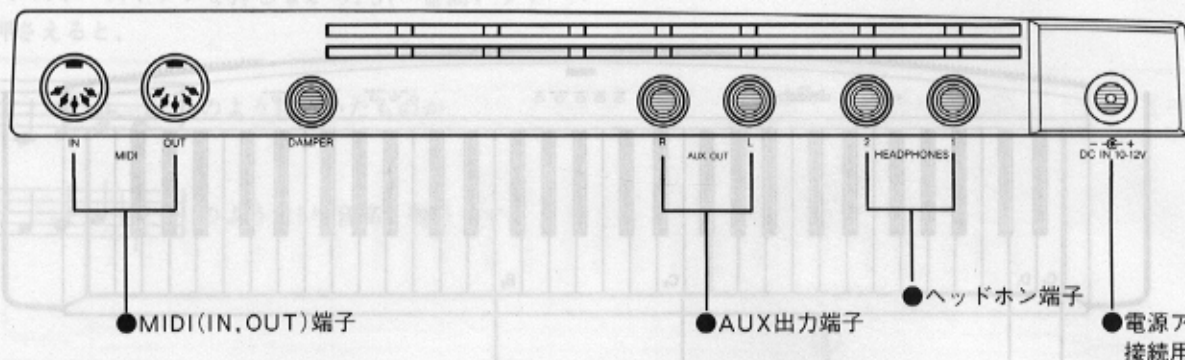


- ① ド(C<sub>1</sub>)とド<sup>#</sup>(C<sub>1</sub><sup>#</sup>)とレ(D<sub>1</sub>)の鍵盤を同時に押しながら、
- ② ド(C<sub>3</sub>)～シ(B<sub>3</sub>)のいずれかの鍵盤を押します。  
※電源を入れた直後は、初期状態(A<sub>3</sub>=440Hz)になっています。

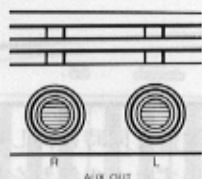
※初期状態から±約50セントの範囲で設定できます。  
※半音=100セントです。

## 2. 他の機器と接続する

背面パネルの付属端子を使って、各機器と接続できます。



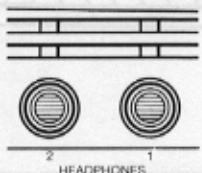
### ●AUX出力端子



この端子を使ってキーボードアンプなどに接続し、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音できます。  
ただし、モノラルの信号が出力されます。

※接続した際は、他の機器のボリュームを最小にしてからYPP-15の電源(ON/OFF)スイッチをONにしてください。

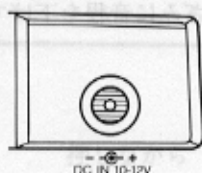
### ●ヘッドホン端子



ステレオヘッドホンを2個まで接続し、外に音を出さずに演奏できます。

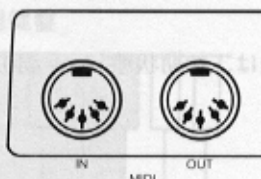
※この端子にプラグを差し込むと、YPP-15のスピーカからは音が出なくなります。

### ●電源アダプター接続用端子 (→2ページ)



付属の電源アダプターPA-3を接続するための端子です。

### ●MIDI(IN、OUT)端子 (→14ページ)



この端子を使って他のMIDI機器と接続し、MIDIに関する情報をやりとりさせることができます。そして、さまざまなコントロールが可能です。

※電源を切ると、元の音で再生されます。  
※デモ曲の再生中には設定できません。



### 3. MIDI機能を使う

YPP-15はMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法を順に紹介します。

#### MIDIとは?

MIDI(ミディ)という言葉は、「Musical Instrument Digital Interface」の頭文字をとったものです。日本語に訳せば「楽器間のデジタル通信のための世界共通規格」ということになります。

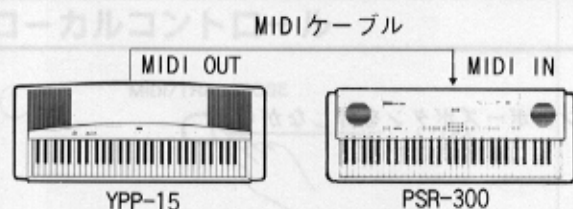
MIDIとは2台以上の楽器をつないで、それらの間で、演奏にまつわるさまざまなコントロールをさせようという目的で考え出された世界共通の規格です。

世界共通の規格ですから、メーカーの違う楽器間でもMIDI規格の楽器であれば、互いにコントロールすることが可能です。

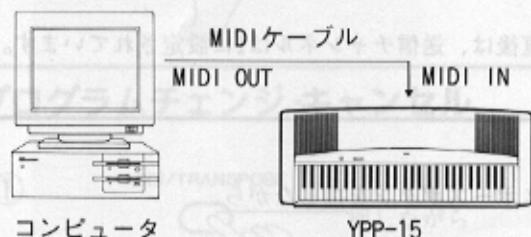
#### MIDIの能力

では、MIDIを使うと、具体的にどんなことができるのでしょうか?

- 1台のキーボードを演奏することによって、他のキーボードをリモート演奏することができます。また、音色の切り替えや、ダンパーペダルのON/OFFなど、様々な効果もあわせてリモートコントロールできます。



- コンピュータやシーケンサーにMIDIの演奏情報を記録しておけば、MIDI楽器に自動演奏をさせることができます。(MIDIの演奏情報を録音する機器を、一般にシーケンサーと呼んでいます。)



※MIDIはあくまでも規格ですから、新しい決まりを付け加えるだけで、できることがどんどん広がっていきます。MIDIはまだまだ発展途上にあるといえるでしょう。

#### MIDIの約束ごと

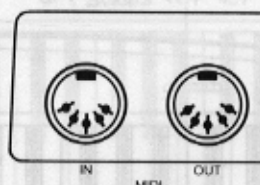
- MIDI端子  
MIDI情報のやり取りには、専用のMIDIケーブルを使います。MIDI楽器には、このMIDIケーブルをつなぐために、専用のMIDI端子が付いています。

このMIDI端子には以下の3つの種類があります。

MIDI IN端子(イン)……MIDI情報を受け取るための端子です。ここからMIDI情報が入ってきます。

MIDI OUT端子(アウト)……MIDI情報を出すための端子です。本体から出ていくMIDI情報は、ここから出ていきます。

MIDI THRU端子(スルー)……MIDI INから入ってきたMIDI情報を、そのまま出すことのできる端子です。この端子を利用すれば、MIDI情報を次の楽器に伝達することができます。



※YPP-15には、MIDI THRU端子はありません。

MIDIケーブルは、MIDI OUT端子またはMIDI THRU端子から、MIDI IN端子へ結線するのが原則です。

MIDI OUTとMIDI OUT、MIDI INとMIDI INをつないでも、意味がありません。

#### ●MIDIチャンネル

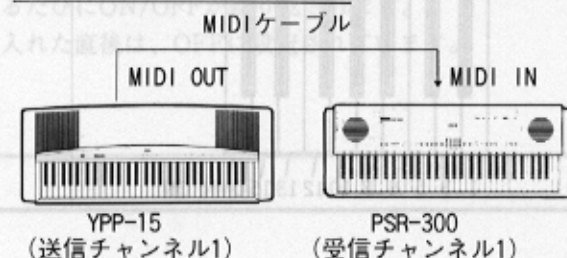
テレビの放送にチャンネルがあるように、MIDIの情報にもチャンネルがあります。

MIDIで情報のやり取りをするには、MIDIチャンネルを合わせる必要があります。と言うのは、MIDI情報のほとんどが、それぞれの情報にチャンネルが指定されて送られているからです。(チャンネルのついていないMIDI情報もあります。)

MIDIチャンネルには、1~16までの16種類があり、送る側でどのチャンネルで情報を送るか設定できるようになっています。この送る側のチャンネルを「送信チャンネル」と呼んでいます。

また、受け手側も何チャンネルの情報を受けるかを設定できるようになっています。この受ける側のチャンネルを「受信チャンネル」と呼んでいます。

たとえば、次の図のようにYPP-15からPSR-300にMIDIで情報を送って鳴らそうと思ったら、YPP-15の送信チャンネルとPSR-300の受信チャンネルを合わせる必要があります。MIDIケーブルが正しく接続されていても、このチャンネルが合っていないと、送り手側からのMIDI情報に受け手側は反応しない仕組みになっているのです。

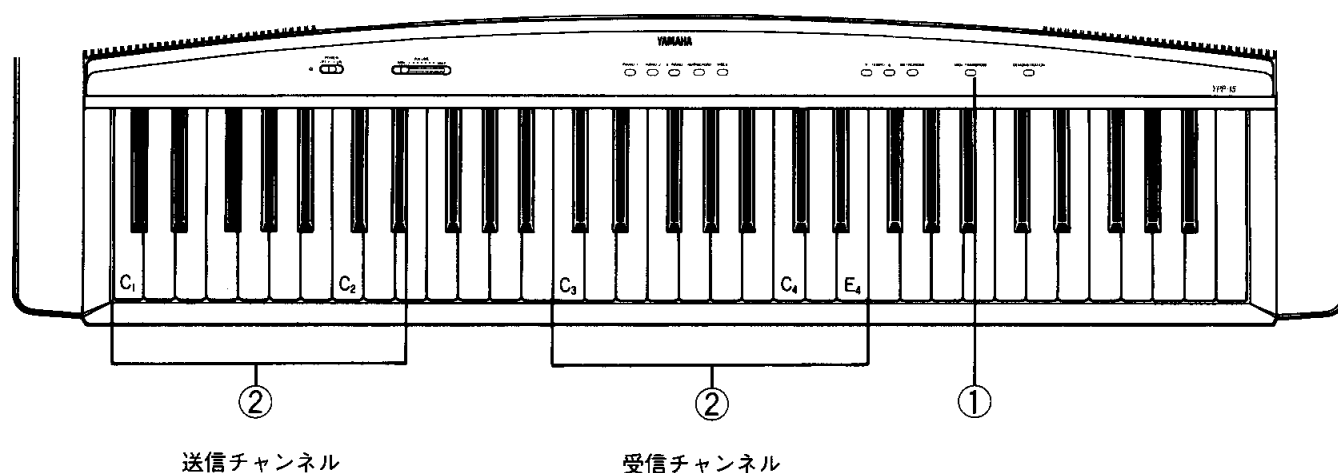


受信チャンネルには、1～16チャンネル以外にもう1つの状態があります。その状態とは「OMNI(オムニ)モード」と呼ばれるものです。このOMNIモードがONの設定になっていると、全てのチャンネルの情報を受けてしまいます。このOMNIモードは便利なモードですが、全ての送信チャンネルのデータにいっぺんに反応してしまいますから注意が必要です。

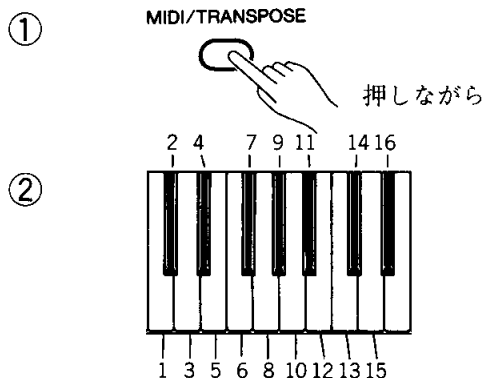
## YPP-15のMIDIの設定

### ●MIDIチャンネルを設定する

MIDIの送信チャンネル、受信チャンネルを設定する



### 送信チャンネルを設定する時

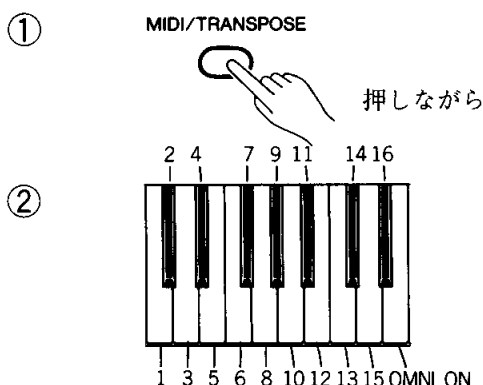


①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

②C<sub>1</sub>～D<sub>2</sub>の鍵盤を押すと、左の図のように送信チャンネルが設定されます。

※電源を入れた直後は、送信チャンネルは1に設定されています。

### 受信チャンネルを設定する時



①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、

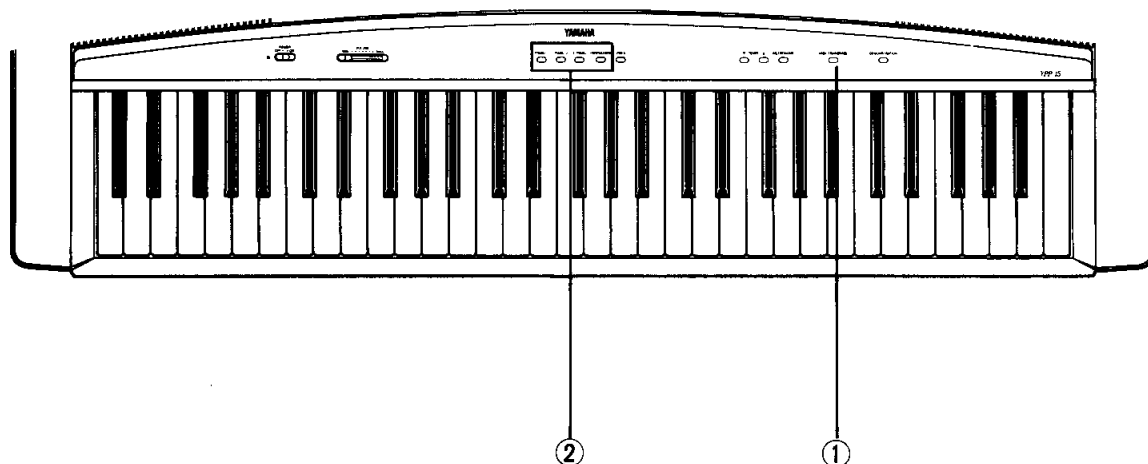
②C<sub>3</sub>～E<sub>4</sub>の鍵盤を押すと、左の図のように受信チャンネルが設定されます。

※電源を入れた直後は、受信チャンネルは1に設定されています。



※受信チャンネルが1～16に設定されている時は、OMNIはOFFに設定されています

## その他のMIDI設定

ローカルコントロール、プログラムチェンジ・キャンセル、コントロールチェンジ・キャンセル、マルチティンバーの、ON/OFFを設定します。



### ローカルコントロール



- ① **MIDI/TRANPOSE**  

 押しながら
- ② **PIANO 1**  


YPP-15の内部で、鍵盤部分と音源部分を電氣的に切り離すか、切り離さないかの設定です。

ローカルコントロールをOFFにすると、鍵盤と音源が切り離されるため、鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。YPP-15本体の音を鳴らさずに、MIDIで他のキーボードをコントロールしたい時に、OFFにしてください。

※操作するたびにON/OFFが繰り返されます。  
 ※電源を入れた直後は、ONに設定されています。

### プログラムチェンジ・キャンセル

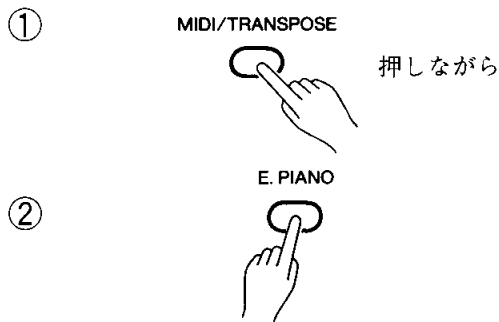
- ① **MIDI/TRANPOSE**  

 押しながら
- ② **PIANO 2**  


MIDIの音色切り替えの信号を送受信させるか、させないかの設定です。

プログラムチェンジ・キャンセルをONにすると、MIDIで音色切り替えの信号を受け取っても、音色は切り替わらなくなります。また、他のキーボードの音色切り替えもコントロールできなくなります。

※操作するたびにON/OFFが繰り返されます。  
 ※電源を入れた直後は、OFFに設定されています。

## コントロールチェンジ・キャンセル



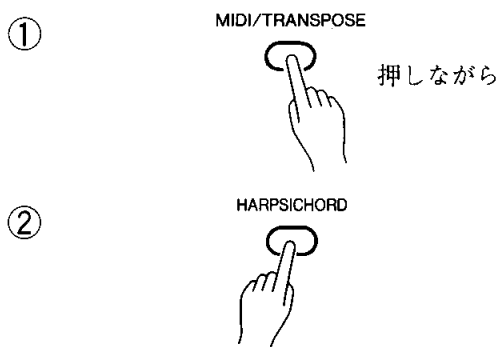
主にMIDIのダンパーペダルの信号を送受信させるか、させないかの設定です。

コントロールチェンジ・キャンセルをONにすると、ダンパーペダルのON/OFFをMIDIでコントロールできなくなります。

※操作するたびにON/OFFが繰り返されます。

※電源を入れた直後は、OFFに設定されています。

## マルチティンバー



チャンネル1～10の情報を同時に受信させるか、させないかの設定です。

マルチティンバーをONにすると、別々のチャンネルでシーケンサーに記録されている様々なパートの演奏情報を、YPP-35本体1台に同時に受信させて様々な音色で鳴らすことができます。

※操作するたびにON/OFFが繰り返されます。

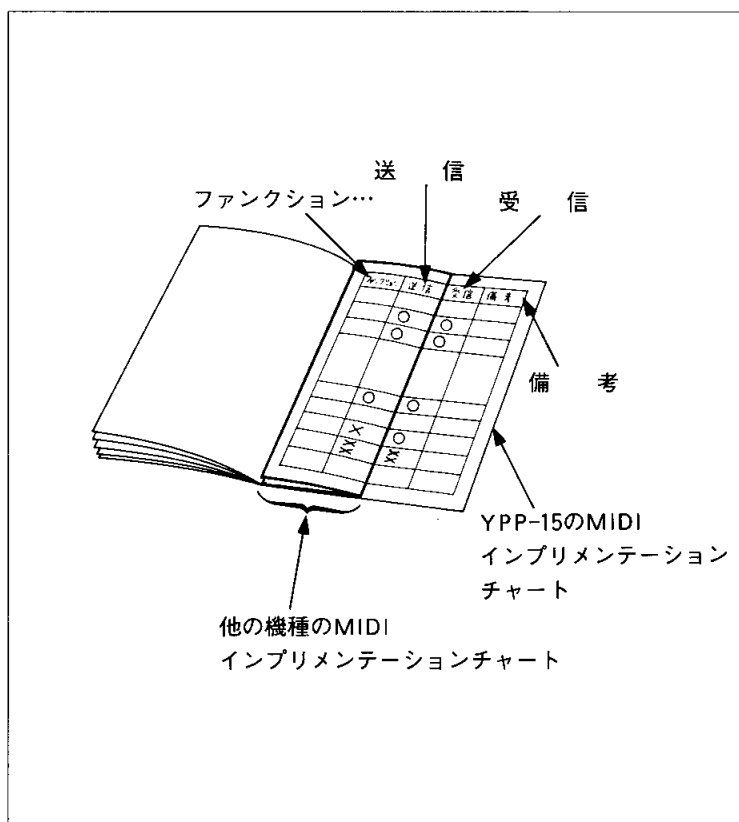
※電源を入れた直後は、OFFに設定されています。

## MIDIインプリメンテーションチャートとは

シンセサイザーや音源モジュールなどのMIDI機器には、必ずMIDIインプリメンテーションチャートと呼ばれる機能一覧表がついています。その機器がMIDIのどんな機能に対応しているかは外見からは判断できないため、このような表をつけることをMIDI規格で定めているのです。

この表では左端の列にMIDIの各機能が並び、受信と送信でそれぞれの機能に対応しているかどうかを”○”と”×”で表しています。2つの機器で互いにどんな機能に対応しているかを調べる時には、それぞれの機種種のチャートを縦に2つ折りにし、受信側と送信側をつなげてみます(下図参照)。

”○”が2つ並べば、その機能が使えることになります。



# YPP-15 MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 1991.9.17  
Version:1.0

ファンクション...		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル	1チャンネル 1~16チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 オムニオン/オフ ×	
ノート ナンバー	音域	36~96 *****	21~108 21~108	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、v=1~127 × 9nH、v=0	○ v=1~127 × 9nH、v=0 or 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	64	○	○	ダンパー
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 0~4 *****	○ 0~4 0~4	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×	○ ○ (122~125) ○ ×	
備考				

モード1：オムニ・オン、ポリ  
モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ  
モード4：オムニ・オフ、モノ

○：あり  
×：なし



# 5. 資料

## 1. オプション(別売品)のご紹介

ステレオヘッドホン・HPE-5 ¥5,500



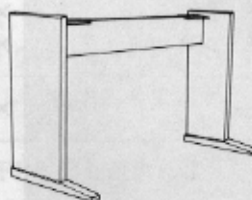
MIDIケーブル・MIDI-03 ¥1,100



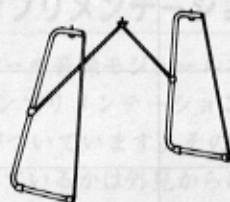
イス・BC-6 ¥5,000



スタンド・LW-10  
(白鍵までの高さ730mm)



スタンド・L-2C ¥6,000  
(白鍵までの高さ792mm)



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

※表示の価格には、消費税は含まれていません。  
※各機種の機能一覧表を参照してください。  
※各機種の機能一覧表を参照してください。  
※各機種の機能一覧表を参照してください。

※各機種の機能一覧表を参照してください。  
※各機種の機能一覧表を参照してください。  
※各機種の機能一覧表を参照してください。

他の機種のMIDI  
インプリメンテーションチャート



## 2.仕様

- 鍵盤**  
一段鍵盤61鍵(C1~C6)
- 音源**  
AWM音源
- 音色(5音色)**  
PIANO 1、PIANO 2、E.PIANO、HARPSICHORD、VIBES
- 同時発音数**  
PIANO 2 .....最大14音  
その他の音色 .....最大16音(ただしダンパーペダルを踏んでいる時は最大28音)
- 効果**  
ダンパー
- メトロノーム**
- デモンストレーション**  
5曲(音色ごとに1曲)
- 付属端子**  
ヘッドホン×2、AUX.OUT L,R、MIDI端子(IN,OUT)、ダンパーペダル接続用端子、電源アダプター接続用端子
- メインアンプ**  
5W
- スピーカー**  
12cm(8Ω)×2
- 定格電源**  
DC10~12V:電源アダプターPA-3、単1乾電池6本
- 消費電力**  
電源アダプター使用時:13W  
乾電池使用時:7W
- 外装仕上げ**  
アクリルラッカー塗装仕上げ
- 寸法(譜面立て取り外し時)**  
(間口)970mm×(奥行)381mm×(高さ)123mm
- 重量(乾電池重量含まず)**  
7.5kg
- 付属品**  
電源アダプターPA-3、譜面立て、ダンパーペダル、取扱説明書、ダストカバー

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ◆ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430 静岡県浜松市中区中沢町10-1 TEL.053-460-1696  
●受付日 月曜日~金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) ●受付時間 10:00~12:00 / 13:00~17:00

北海道支店 第二営業課	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL.011-512-6113
仙台支店 第二営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL.022-222-6147
東京支店 第二営業部 企画課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL.03-5488-5476
関東支店 第二営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL.03-5488-1688
名古屋支店 第二営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL.052-201-5198
大阪支店 第二営業部 第二営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL.06-252-7491
広島支店 第二営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL.082-244-3749
九州支店 第二営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL.092-472-2134
電子楽器営業部	〒108	東京都港区高輪2-17-11	
ポータブル楽器営業課			TEL.03-5488-6641

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

## 3. おかしいな?と思ったら

ステレオへ おかしいな?と思ったら、この表を見てください。

現 象	原 因	解 決 法
音が途切れたり、誤動作がおきたりする。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換するか、または付属の電源アダプターを接続してください。
電源(ON/OFF)スイッチをONまたはOFFにした時、“ポツン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	音量が下がっている。	ボリュームレバーを上げてください。
	ヘッドホン端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	6ページを参照してください。
テンポが変わらない。	テンポの設定範囲を越えようとしている。	テンポの設定範囲は、♩=40~280の範囲です。
鍵盤を弾いても音が出ない。	ローカルコントロールがOFFになっている。	一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。

※表示の価格には、消費税は含まれていません。

## 4. 保証とアフターサービス

- 本機の保証期間は、保証書により、ご購入から満1年です。（国内のみ有効）なお、現金・クレジットなど支払い方法による保証の区別はいたしません。
- 保証期間の1年を過ぎましても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ店、または、下記のサービス拠点までお問い合わせください。
- お買い上げ店による修理調整  
故障の場合は、直接お買い上げ店にご持参ください。責任をもって修理調整いたします。
- サービスのご依頼  
ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず「おかしいな?と思ったら」の項をお読みいただき、ご確認ください。（ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。）なお、サービスをご依頼されるときは、お名前、ご住所、電話番号などを正確にお知らせください。またお勤めなどでご不在がちな方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡先をお知らせください。（楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえない事情によってお約束を変更しなければならぬようなときに、お客様にご迷惑をおかけしないですみます。）

### ◆ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション*	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-6625
(*お持ち込み修理のみのお取り扱い)			
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-877-5262
四国サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック高松店内	TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134

[本社]カスタマーサービス部 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-1158

### ◆ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696

● 受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) ● 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

北海道支店 第二営業課	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
仙台支店 第二営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
東京支店 第二営業部 企画課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5476
関東支店 第二営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 第二営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
大阪支店 第二営業部 第二営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL. 06-252-7491
広島支店 第二営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州支店 第二営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130
電子楽器営業部	〒108	東京都港区高輪2-17-11	
ポータブル楽器営業課		TEL. 03-5488-6641	

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION

---

ヤマハ株式会社